

一般向けパスファインダー

杉並区の歴史について調べる



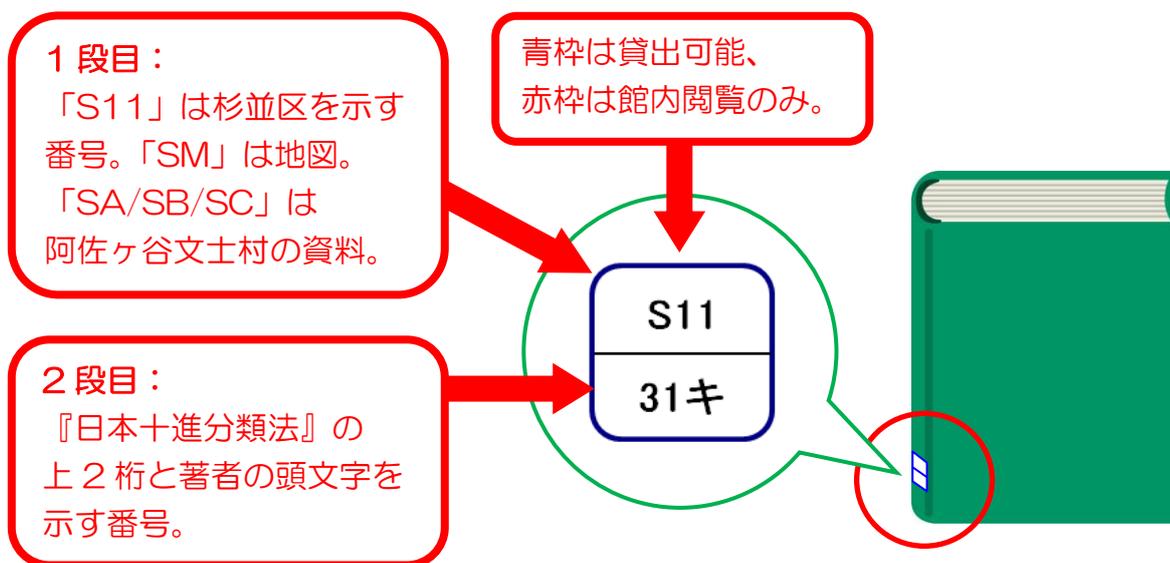
「武蔵野台地」と呼ばれる大地の東に位置する杉並区。近世には参勤交代の大名が宿泊した高井戸宿が栄え、将軍が鷹狩り場として訪れていました。明治になると杉丸太が生産され、養蚕が盛んに行われます。知っているようで知らない歴史がまだまだあるはず。今回は杉並区の歴史について調べる手助けとなる資料をご紹介します。

★各資料の詳細は、蔵書検索システム（OPAC）でご確認ください。
（所蔵館によって、出版年や分類番号が異なる場合があります）

① 杉並のことを調べるときには、まず「杉並資料」を！

杉並区立図書館では、杉並区や東京都、都内の各自治体に関する資料（郷土資料、行政資料）を「杉並資料」として所蔵しています。

背表紙のラベルの分類番号が、「S」で始まるものが杉並資料です。



★杉並区立図書館で採用している分類やラベルのルールについて、さらに詳しく知りたいときには、図書館ホームページ（トップ>パスファインダー）の「パスファインダー 基礎編その1」のページをご覧ください。

★目的の本が見つからないときは、図書館のスタッフにお声がけください。

② 蔵書検索システム（OPAC）で調べるには

図書館の本は、蔵書検索システム（OPAC）を使って調べられます。
OPACは、図書館内の端末機か、図書館ホームページから利用できます。

<図書館内の端末機から検索するとき>

<図書館ホームページから検索するとき>

★OPAC の詳しい使いかたを知りたいときは、画面右上の「？」マークのところに
あるヘルプページ、または、図書館ホームページ（トップ>パスファインダー）の
「パスファインダー 基礎編その1」のページをご覧ください。

③ 杉並区の通史を調べたいときは

杉並区の歴史を網羅的に調べたいときに役立つ資料をご紹介します。

通史



『新修 杉並区史』上・中・下・資料編

東京都杉並区役所／編集・発行、1982年（S11.21ス）

杉並区の始原時代から現代までの歴史が詳しくまとめられていて、杉並区を知る上で欠かせない歴史書。



『杉並風土記』上・中・下

森泰樹／著、杉並郷土史会／発行、1977・1987・1989年（S11.21モ）

杉並区内の旧20カ村を3巻に分けて、古代から現代にいたる歴史や民俗、産業、旧跡など土地の変遷を豊富な写真とともに解説。



『杉並・まちの形成史』

寺下浩二／著・発行、1992年（S11.21テ）

江戸から戦後まで、杉並の地域形成、都市計画に着目して書かれた形成史。農村地帯から郊外住宅地へと変化した過程がわかりやすく述べられている。



『杉並区の歴史 東京ふる里文庫 12』

杉並郷土史会／文、名著出版／発行、1978年（S11.21ス）

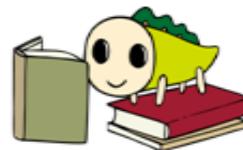
縄文時代から戦後まで、杉並の歩みが1冊でわかる入門書。杉並区の自然や人々の生活、交通や教育の移り変わりにも触れている。



『目で見る杉並区の100年』

郷土出版社／発行、2012年（S11.21キ）

明治から平成まで、杉並区100年の様子を350枚の写真で紹介。解説付きの見て読む郷土史。



★★★他にもこんな資料が便利！★★★

■ 『のびゆく杉並』

(杉並区教育委員会／発行、2020年、S11.21キ)

杉並区内の中学生向け社会科副読本。

写真や図版が豊富でオールカラー、さらになみすけがナビゲーターをつとめます。まずはコンパクトに歴史の概要を知りたい人におすすめです。

■ 『杉並区の昭和 写真アルバム』

(いき出版／発行、2019年、S11.21イ)

昭和の杉並の人々の暮らし、街の変遷がわかる写真集です。

■ 『すぎなみのあゆみと人々の暮らし』

(杉並区総務部総務課／編・発行、2012年、S11.21ソ)

区政施行80周年記念で刊行された杉並区を振り返る冊子です。年表によって区政の歴史がわかります。

■ 地域新聞

地域新聞は、全国紙には載っていない身近な地域の出来事、情報の宝庫です。

・『杉並新聞』

(1948年～1973年→西東京新聞社／編・発行、

1975年～2006年→杉並新聞社／編・発行、S11.07ス)

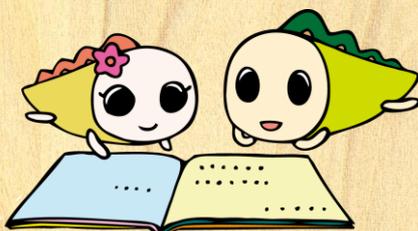
・『杉並ジャーナル』

(創刊号～58号→ISジャーナル／編・発行、1982年～1985年、

59号～179号→杉並通信社／編・発行、1985年～1996年、S11.05ス)

・『杉並新報』

(杉並新報社／編・発行、2001年～2021年、S11.07ス)



④ 地域ごとの歴史を調べたいときは

杉並区は、昭和7年に杉並町、井荻町、高井戸町、和田堀町の4つの町が合併して誕生しました。各地域に関する資料をご紹介します。

地域の歴史



『すぎなみの地域史』Ⅰ～Ⅳ

杉並区立郷土博物館／編・発行、2017～2021年（S11.21キ）

杉並区立郷土博物館で行われたシリーズ展示「すぎなみの地域史」の展示図録。和田堀、高井戸、井荻、杉並それぞれの地域の歴史がまとめられている。図録のため図版が豊富。



「荻窪の記憶」シリーズ

荻窪地域区民センター協議会／発行、2019～2022年（S11.21オ）

「太田黒公園周辺」「天沼」「南荻窪・宮前」「清水・桃井・今川」の地域の歴史にスポットをあてたパネル展の内容を冊子にまとめたもの。特に地域ゆかりの人物が多彩に紹介されている。



『高円寺 村から街へ』

高円寺パル史誌編集委員会／著、高円寺南商店街振興組合／発行、1992年（S11.21コ）

高円寺村から始まり、近郊農村、町の形成から発展、都市化への道のりを、順を追って解説。商店街振興組合が発行していることもあり、商店街の歴史、変遷についてはより詳細に記述されている。



『武蔵国多摩郡馬橋村史』

武蔵国多摩郡馬橋村史編纂委員会／編集・発行、1969年（S11.21△）

新住居表示の施行により馬橋村の名称が消えてしまうことを契機に編纂された村史。豊富な史料が残っている馬橋村の近世の様子を詳しく知ることができる。



他にも様々な地域の歴史がわかる資料がたくさんあります。調べたい地域の名前をキーワードに入れて検索してみてください。

⑤ 杉並区に関する各分野史を調べたいときは



『杉並区政史』

東京都杉並区／編集・発行、1995年（S11.31ス）

杉並区60周年にあたり出版された杉並区の行政史。



『杉並区議会史』

杉並区議会史編さん委員会／編集・発行、1981年（S11.31ス）

昭和7年からの杉並区議会の記録をまとめたもの。



『杉並区教育史』上・下

東京都杉並区教育委員会／編集・発行、1966年（S11.37キ）

明治初年の家塾の時代から昭和30年までの杉並区地方教育史。



『杉並の近世交通野史』

木村輝郎／著、一粒書房／発行、2018年（S11.68キ）

杉並区の交通インフラの歴史をまとめたもの。



『杉並区農業のあゆみ』

杉並区農業委員会／編集・発行、1975年（S11.61ノ）

江戸時代から昭和50年代までの杉並地域の農業の歴史。



『杉並の女性史』

杉並区女性史編さんの会／編、ぎょうせい、2002年（S11.36ス）

杉並区民女性が語り、綴った杉並区誕生からの女性史。



『杉並消防署50年史』

杉並消防署50年史編纂委員会／編、東京消防庁杉並消防署／発行、1982年（S11.31ス）

豊富な写真で、杉並消防署の誕生から50年の歴史を紹介。



『公民館の歴史をたどる』

杉並区立公民館／編集・発行、1989年（S11.37コ）

昭和28年の開設から閉館までの杉並の公民館の歴史をまとめたもの。

⑥ インターネットで調べてみよう

杉並区の歴史を調べられるインターネットのサイトをご紹介します。

<p>杉並区教育委員会 公式サイト (https://www.city.suginami.tokyo.jp/kyouiku/)</p>	<p>トップページからリンクしている「区の歴史・文化財」のコーナーでは、杉並区の歴史について、原始・古代から解説。また区の指定・登録文化財の一覧などを見ることができる。</p>
<p>すぎなみ学倶楽部 (https://www.suginamigaku.org/)</p>	<p>杉並区が設置・運営し、区民の皆さまの参加と協力のもと、杉並の魅力を発信するウェブサイト。「歴史(History)」では、杉並ならではの後世に伝えたい、残したい歴史を紹介。当時、関わりのあった人物のインタビューや証言も掲載。</p>
<p>なみじゃない、杉並！ 中央線あるある PROJECT (https://www.chuosen-rr.com/)</p>	<p>中央線あるあるプロジェクト実行委員会による杉並の魅力を発信するサイト。高円寺・阿佐ヶ谷・荻窪・西荻窪それぞれの街の歴史、見どころ、イベントなども紹介。</p>
<p>東京高円寺阿波おどり 振興協会公式サイト (http://www.koenji-awaodori.com/)</p>	<p>「史料館」を開くと、高円寺阿波おどりの歴史が詳しく解説されている。記念誌、広報誌、ポスター、写真なども見ることができる。</p>



杉並区を語る上で外せない歴史的出来事がわかる資料



最後にほんの一部になりますが、杉並区の歴史を語る上で外せない、重要な出来事について調べの際に参考となる資料をご紹介します。

(ここでご紹介する以外にも沢山の資料がありますので、ご興味を持たれた方は蔵書検索システムで検索、またはレファレンスカウンターにお尋ねください。)

■原水爆禁止運動■

ビキニ水爆実験と第五福竜丸の被ばくをうけて、原水爆禁止運動が杉並区で始まり、全国から世界へと拡大。

- 『原水禁署名運動の誕生』 ※有志舎から 2021 年に再刊
(丸浜江里子／著、凱風社／発行、2011 年、S11.31 マ)
- 『ほうしゃの雨はもういらない』
(丸浜江里子／著、凱風社／発行、2016 年、S11.31 マ)
- 『原水爆禁止署名運動と公民館』
(公民館を存続させる会／編集・発行、1974 年、S11.37 コ)

■荻外荘■

内閣総理大臣を三度務めた近衛文麿の住居。政治の転換となる重要な会議が数多く開かれていた。

戦後、GHQ より戦犯容疑で逮捕命令が発せられていた近衛文麿が自決した場所でもある。

- 『「荻外荘」と近衛文麿』
(杉並区立郷土博物館／発行、2016 年、S11.21 コ)
- 『近衛文麿内閣関係者が語る諸家追憶談』
(杉並区教育委員会／発行、2021 年、S11.70 フ)
- 『華族たちの昭和史 昭和史の大河を往く』 ※中公文庫版もあり
(保阪正康／著、毎日新聞社／発行、2008 年、217 ホ)

■井荻土地区画整理■

戦前の井荻町長内田秀五郎による、東京最大の土地区画整理事業。

- ・『評伝 内田秀五郎』

(寺下浩二／著、はこだて町並み資料館／発行、2022年、S11.28ウ)

- ・『井荻町土地区画整理の研究』

(高見澤邦郎／著、南風舎／発行、2006年、S11.51タ)

■阿佐ヶ谷会■

阿佐ヶ谷・高円寺・荻窪界隈には多くの文士が住んでいて、交流の場として阿佐ヶ谷会が作られた。

- ・『阿佐ヶ谷文士村』

(村上護／著、春陽堂書店／発行、1993年、SA.90ア)

- ・『文壇資料 阿佐ヶ谷界隈』

(村上護／著、講談社／発行、1977年、SA.90ア)

高井戸の「東京ゴミ戦争」、「アンネ・フランクゆかりのバラ」については、図書館ホームページに個別のパスファインダーがありますので、そちらをご覧ください。

(図書館ホームページ TOP>パスファインダー)

<https://www.library.city.suginami.tokyo.jp/pathfinder/index.html>



杉並区立中央図書館
2023年1月6日発行
(代表) 03-3391-5754